

## 巻頭によせて

院長 丹野三男

当病院が現在地に新築，移転してから今年で満5年になるが，このたび，移転を記念して再刊された仙台市立病院医学雑誌第6巻を発行することが出来た。

医学雑誌を初めとして最近の医学情報は質，量共に極めて膨大なものがあり，up to dateの知識を常に身につけておくことは必ずしも容易ではないが，一方，文献の検索法も昔とは違って大変便利になってきておると思う。

以前は医学中央雑誌や Index Medicus の抄録を読んで，その中から適切な雑誌を求めたり，或は孫引きから選んだりしたものである。最近では日本科学技術情報センターで開発した JOIS (JICST on-line Information system) を利用して，より広範囲に，より簡便に世界の文献を読むことが出来るようになってきた。

これとは別に electronic Journal, 電子雑誌なるものが紹介されている。即ち, Annals of Internal Medicine, 100 巻, 6 号, 或は The New England Journal of Medicine, 311 巻, 25 号の巻頭言で Joseph J. Elia, Jr. はこれ等の雑誌の全論文を，更に今後は British Medical Journal, The Lancet 等の著明な医学雑誌をコンピュータによるオンライン・データベースとして読者にサービスすることを発表している。これは電子雑誌とも呼ばれるもので，今後の出版物のあり方に大きな影響を与えるだろうと注目されている。

具体的には図表を除いた雑誌の全文をコンピュータ内にそのまま蓄積しておき，その中から目的とする論文の keywords を組み合わせることによって必要なものを探し出し，それを端末機からオンラインで取り出して読むというのである。コンピュータは大型のものが世界中のどこか一ヶ所があれば，電線を介して必要な時に端末機をこのコンピュータにつなぐ，従って端末機さえ持っておれば世界のどこからでも国際線を通して最新の医学論文を取り出すことが出来るわけである。

例えば輸血による AIDS の感染を知りたいならば，AIDS と transfusion という言葉を and でつなぎ，端末機に打ちこむと，この両方の言葉が中で使われている論文が自動的に打ち出され，印刷されて出てくるのである。

この電子雑誌の仕組みが完成されれば，どんな場所に於いても，自宅でも，僻地の診療所でも電話線と端末機さえあれば，最新の医学論文を読むことが出来る時代が目の前にきておるように思われるのである。